

令和2年度 歴史展示資料室 展示の概要・計画

① 「芦屋の歴史と文化財」展

期間:令和2年4月7日(火)(※1)~11月23日(月・祝)

前期展示 4月7日(土)~9月6日(日)

後期展示 9月19日(土)~11月23日(月・祝) (※2)

(※1) 臨時休館により6月2日(火)から開始

(※2) 当初は3回の展示入れ替えを予定していたが、臨時休館及び一部展覧会日程変更により2回に変更

《開催概要・構成について》

芦屋市内での通史を古代、中～近世、近代(現代)の3つのエリアに分けて展示。

古代は、市内最古の考古資料とされる「ナウマンゾウの歯の化石」から、国指定遺跡「会下山遺跡」をはじめとした、市内にて発掘された考古資料を、出土地(遺跡)とともに紹介し、古代の芦屋地方の姿を紹介。

中～近世は、『太平記』に登場した打出地域の合戦の紹介や、令和2年7月に日本遺産に認定された「伊丹・灘の酒造」に関連した展示を行っている。

近代は、交通網(特に鉄道)の発達によって宅地化されて発展し、4つの村が「精道村」→「芦屋市」へと姿を変わって行く過程を紹介。芦屋市域の歴史を「時系列」で辿る構成を取り、芦屋市というまちの歴史を初めて来館した人や、歴史に明るくなくても、誰もが理解しやすいような展示作りを行っている。

本年度は、芦屋の歴史を知る上で欠かせない資料に加えて「直近で展示を行っていなかった資料」を紹介することを重視した構成を取り、中近世の「太平記」展示、近現代の「井床家文書(官鉄敷設時の石材に触れる内容)」や「市政要覧」などがあげられる。

後期展示においても、直近で展示実績のない資料や、初出の資料の展示を組み込む予定。



展示室全景



古代展示



古代展示 会下山遺跡 ほか



古代展示 遺跡紹介パネル



《芦屋市指定文化財》展示（青銅製漢式三翼劔）



中近世展示全景



中近世展示 太平記・打出の合戦



中近世展示 日本遺産展示全景



中近世展示 日本遺産紹介パネル



近代展示



近代展示 鉄道の発達



近代展示 精道村・芦屋市のあゆみ

《後期展示》

前述の通り、後期展示では直近で展示実績のない資料や初出の資料の展示を行い、芦屋市の歴史を「多角的」且つ「新しい」視点で触れる事が出来るようにして、初めて・またはリピーターの来館者双方が楽しめる内容を構成する。

◎主な展示候補

- ・永保橋親柱（令和2年度寄贈）…阪神大水害時に流水によって上部が折れるも、その折れた上部を市民が保管していたもの。
- ・日本遺産展示(酒造関係) …未出の資料(櫻正宗酒蔵の絵図ほか)を数点展示予定。

②「昔の暮らし」展

期間:令和2年12月5日(土)~令和3年2月21日(日)

《開催概要・構成について》

小学校3年生が学習する「昔の道具と暮らし」の内容に沿って当館所蔵資料を展示する。

今年度は、令和元年度に芦屋市に約300点にのぼる寄贈を受けた「打出焼」の展示や、今夏寄贈予定の仕立師が使用していた裁縫用具など、新規の資料を加えた展示を行う予定。

※構成は計画中。

[今後の予定]

令和3年度の「芦屋の歴史と文化財」展

会下山遺跡が「国指定遺跡10周年」を迎える為、会下山遺跡を大きく取り上げる展示を計画。